

ALS サービス S-JIS サポート Powered by AlmaLinux OS SLA

文書番号:ML-CS-3402

本書は、サイバートラスト株式会社（以下、当社）が提供する AlmaLinux オペレーティングシステムソフトウェア（以下 AlmaLinux OS と表記）向けのサービスの内容について説明するものである。

1. ALS (Advanced Longterm Support) サービス S-JIS サポート Powered by AlmaLinux OS の概要

本 S-JIS サポートは、AlmaLinux ALS サービスの追加サービスとして提供するものであり、『AlmaLinux ALS サービス SLA』の定めに基づいて提供されるパッケージに対して、文字コード Shift_JIS の利用を可能とすることを目的とし、2 で定めるパッケージを対象に、3 で定める前提事項、4 に定める制限事項、および『AlmaLinux ALS サービス SLA』で定める事項の下、アップデートパッケージを提供するものである。

- AlmaLinux ALS サービス SLA
<https://certrepo.dist.miraclelinux.net/public/almalinuxals/documents/almalinux-als-sla.pdf>

2. サービス対象

本サービスは以下の対象 OS を導入したシステムを対象とする。

- AlmaLinux OS 9.6

本サービスが対象とするパッケージを [表 1] に記す。

【表 1 サービス対象パッケージ】

パッケージ種別	パッケージ名
コンパイラ関連	gcc
コマンド関連	bash, cpp, coreutils, diffutils, dos2unix, ed, findutils, gawk, gettext, grep, less, m4, ncurses, sed, tcsh, util-linux, util-linux-core, vim-common, vim-enhanced, vim-minimal
デバッグツール	gdb
C 言語ライブラリ	glibc, glibc-common

[表 1] の対象パッケージに含まれるコマンドのうち、本サービスが対象とするコマンドを [表 2] に記す。

なお、[表 1] の対象パッケージに含まれるコマンドであっても、[表 2] に記載のないコマンドは本サービスの対象外とする。

【表 2 サービス対象コマンド】

arch	awk ※1	basename	bash ※1	cal	cat
chcon	chgrp	chmod	chown	chrt	clear
cmp	col	comm	cp	cpp	csch ※1
cut	date	dd	df	diff	dirname
dmesg	dos2unix	du	echo	egrep	env
expand	expr	false	fgrep	find	fold
gawk ※1	gcc	gcore	gdb	gencat	getconf
getent	getopt	gettext	grep	groups	head
hostid	iconv	id	install	ipcrm	ipcs
join	kill	ldd	less	link	ln
locale	localedef	logger	login	logname	ls
m4	md5sum	mkdir	mkfifo	mknod	mktemp
more	mount	msgfmt	mv	nice	nl
nohup	od	paste	pathchk	pr	printenv
printf	pstack	pwd	renice	rm	rmdir
runcon	script	sdiff	sed	seq	setterm
sh	sleep	sort	split	stat	stty
su	sync	tail	tcsh ※1	tee	test
touch	tr	true	tsort	tty	umount
uname	unexpand	uniq	unix2dos	unlink	vi
view	vim	wc	whereis	who	whoami
write	xargs	xxd			

【注意事項】

※1 当該ソフトウェアの組み込みコマンドもサービス対象コマンドに含む。

本サービスが対象とするコンパイラとライブラリを [表 3] に記す。

【表 3 サービス対象のコンパイラとライブラリ】

項目	サービス対象
コンパイラ	gcc (64bit 版)
ライブラリ	glibc パッケージ内の標準ライブラリ (64bit 版)

3. 前提事項

本サービス提供にあたっての前提事項は、以下のとおり。

- 本サービスは、「2. サービス対象」で定義したサービス対象において文字コード Shift_JIS を利用可能にすることを目的としたものである。
- 対象環境は、ユーザーロケールに「ja_JP.WINDOWS-31J」を設定した環境のみとし、下記ロケールは「ja_JP.UTF-8」であることを前提とする。
 - システムロケール (/etc/sysconfig/i18n ファイルの環境変数 LANG)
 - 特定ユーザーのデフォルト・ユーザーロケール (\$HOME/.bash_profile ファイル等の環境変数 LANG)
- 本サービスは、「AlmaLinux ALS サービス」の追加サービスであり、2 項に示したパッケージは「AlmaLinux ALS サービス」のリポジトリから提供するものとする。

4. 制限事項

本サービス提供にあたっての制限事項は、以下のとおり。

- アップデートパッケージは、「2. サービス対象」で定義したサービス対象パッケージのうち、設定変更等ではロケール「ja_JP.WINDOWS-31J」が利用できないものについて、修正が可能と当社で判断した場合に作成する。
 - また、本サービスからアップデートパッケージを提供したパッケージについて、ネットワークから無条件に攻撃が可能で、かつ攻撃を受けた場合に特権を獲得される、もしくは情報が漏洩するなどの影響が大きい脆弱性が発見された場合、修正が可能と当社で判断した場合にはアップデートパッケージを作成する。
- syslog に対する S-JIS 文字のメッセージ出力には対応していない。
 - アプリケーションから syslog に対してメッセージを出力する場合、メッセージはロケール「ja_JP.UTF-8」を使用した文字列に変換、または英数字に制限すること。
- ファイルやディレクトリの名称に対する S-JIS 文字の使用には対応していない。
 - システム全体で、ファイルやディレクトリの名称には、ASCII コード範囲内の英数字や記号を使用すること。
- Makefile における S-JIS 文字の使用には対応していない。
- GUI アプリケーションはサービス対象外であり、不具合への対応も実施しない。
- ミラーリポジトリサーバーなど、本サービスで提供するアップデートパッケージの再配布を目的としたサーバーの構築はできない。

－ 以上 －

本書の記載内容は予告なく変更することがある。
※本書の情報は 2026 年 2 月時点のものである。

AlmaLinux® は、The AlmaLinux OS Foundation の米国およびその他の国における、登録商標または商標である。
Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における、登録商標または商標である。
その他会社名およびロゴ、製品名、ソフトウェア名などは該当する会社の登録商標または商標である。

Copyright © 2025- Cybertrust Japan Co., Ltd. All rights reserved.